

令和5年度 東松島市の主要観光施策について

1 観光物産振興事業

(1) UNWTO「ベストツーリズムビレッジ2023」認定について

これまでの地域事業者等の取組が評価され、令和5年10月19日のUNWTO総会において、東松島市奥松島地域（野蒜地域・宮戸地域）が「ベストツーリズムビレッジ」に認定されたことが発表され、観光庁・国際観光部長に認定証とトロフィーを代理受領いただきました。

※ベスト・ツーリズム・ビレッジとは

地域社会に根差した価値観、商品、ライフスタイルを維持・促進し、経済、社会、環境のあらゆる側面において持続可能性に取り組んでいる農漁村観光地の優良事例を認定する制度。



令和5年11月15日
観光庁・国際観光
部長より認定証と
トロフィーを受け
取りました。



令和5年11月29日
宮城県知事へ
報告

(2) 「世界の持続可能な観光地TOP100」選定の周知について

昨年度、持続可能な観光地の国際的な認証機関であるグリーン・デスティネーションズ（GD）が選出する「世界の持続可能な観光地TOP100」に選出されたことを受け、研修会の開催、啓発物やSNSによる周知、オルレイイベントや写真コンテストの開催など行った。

今年度は、仙台空港国際線到着旅客通路への広告掲出や、市報に特集ページを掲載するなど、引き続き周知を図っている。



「世界の持続可能な
観光地TOP100」ロゴ



仙台空港国際線
到着旅客通路に
広告掲出

2 宮城オルレ事業

市主催、(株)東松島観光物産公社主管により、四季ごとに計4回のオルレイイベントを実施し、のべ235人が参加した。

令和5年10月8日の5周年オルレイイベントにおいては、駐仙台韓国総領事館・金総領事や済州オルレ・徐理事長にも参加いただき、オルレを通じた日韓両国の良好な関係を祈念した。

また、11月12日に宮城オルレと台湾のトレイル「淡蘭古道」間で友情の道協定が締結され、翌日の13日には奥松島コースの起終点「あおみな」において「淡蘭古道」のモニュメントである石柱の除幕式を執り行った。



令和5年11月13日 宮城オルレと淡蘭古
道の友情の道締結に係る除幕式

3 道の駅整備事業

三陸自動車道路上り線矢本パーキングエリアの隣接地に、敷地面積約25,800㎡の道の駅の整備を進めている。

石巻圏域の窓口に位置していることから、石巻市、女川町の特産品なども広く取り揃えるなどにより、石巻圏全体の情報発信地としての役割も担いたいと考えている。

また、開業に合わせ、市道の整備も進めており、三陸自動車道と市道の双方からの利用が可能な、利便性の高い立地となる。

1階には観光案内・トイレ施設、物販施設、農産物加工施設、コンビニ施設、2階には飲食施設を整備する計画としている。

4 来年度に向けた取組

・「世界の持続可能な観光地TOP100」及び「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」の実績を前面に打ち出し、持続可能な観光地として、様々な媒体を活用し情報発信に努めるなど、国際的な認知度向上に取り組み、インバウンドの誘客を推進していく。

・道の駅整備事業について、令和6年9月頃に建物完成、11月頃に開業見込み。